

スキル領域とスキル熟達度

(4)ITアーキテクト

スキル領域

職種:ITアーキテクト

ITアーキテクトのスキル領域

	専門分野	スキル項目	
職種共通スキル項目	全専門分野	<ul style="list-style-type: none"> ● アーキテクチャ設計 要件(制約)の分析と定義、アーキテクチャ設計指針の定義、ITアーキテクチャ設計、アーキテクチャおよび技術的視点から実現可能性評価、技術上の課題の定義と代替案の分析、プラットフォーム及び要素技術の評価 ● 設計技法 モデリング技法の理解、データモデリング技法の理解と適用、プロセスモデリング技法の理解と適用、パフォーマンスモデリング技法の理解と適用、アプリケーション設計技法の理解と適用、インフラストラクチャ設計技法の理解と適用 ● 標準化と再利用 開発標準の定義、基本原則に基づくIT標準の定義、既存資産の再利用、再利用技法の理解と適用、再利用資産の開発と適用、再利用資産管理プロセスの理解 ● コンサルティング技法の活用 コンサルティング技法の選択と活用、分析ツールとモデルの理解と活用 ● 知的資産管理(Knowledge Management)活用 知的資産の管理と活用 <ul style="list-style-type: none"> ● テクノロジー IT業界動向の把握、関連技術(IT)動向の把握、関連技術(IT)標準の理解と適用 ● インダストリ(ビジネス) 関連業界動向の把握、関連業界アプリケーションの把握、関連業界(ビジネス)標準の理解と適用 ● プロジェクトマネジメント プロジェクト統合マネジメント、プロジェクト・スコープ・マネジメント、プロジェクト・タイム・マネジメント、プロジェクト・コスト・マネジメント、プロジェクト品質マネジメント、プロジェクト人的資源マネジメント、プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント、プロジェクト・リスク・マネジメント、プロジェクト調達マネジメント ● リーダーシップ リーダーシップ ● コミュニケーション 2Wayコミュニケーション、情報伝達、情報の整理・分析・検索 ● ネゴシエーション ネゴシエーション 	
	専門分野固有スキル項目	アプリケーションアーキテクチャ	<ul style="list-style-type: none"> ● アプリケーションアーキテクチャ設計 機能要件の定義、機能アーキテクチャ設計、機能アーキテクチャ実現可能性の評価
		インテグレーションアーキテクチャ	<ul style="list-style-type: none"> ● インテグレーションアーキテクチャ設計 統合要件の定義、統合アーキテクチャ設計、統合アーキテクチャ実現可能性の評価
		インフラストラクチャアーキテクチャ	<ul style="list-style-type: none"> ● インフラストラクチャアーキテクチャ設計 インフラストラクチャ要件(主に非機能要件)の定義、インフラストラクチャアーキテクチャ設計、インフラストラクチャアーキテクチャ実現可能性の評価

スキル熟達度・知識項目

職種:ITアーキテクト

専門分野:アプリケーションアーキテクチャ

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●アーキテクチャ設計</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －要件(制約)の分析と定義 －アーキテクチャ設計指針の定義 －ITアーキテクチャ設計 －アーキテクチャおよび技術的視点から実現可能性評価 －技術上の課題の定義と代替案の分析 －プラットフォーム及び要素技術の評価 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●設計技法</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －モデリング技法の理解 －データモデリング技法の理解と適用 －プロセスモデリング技法の理解と適用 －パフォーマンスモデリング技法の理解と適用 －アプリケーション設計技法の理解と適用 －インフラストラクチャ設計技法の理解と適用 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●標準化と再利用</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －開発標準の定義 －基本原則に基づくIT標準の定義 －既存資産の再利用 －再利用技法の理解と適用 －再利用資産の開発と適用 －再利用資産管理プロセスの理解 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル3	<p>（このレベルの具体的な説明は図中の斜線によって省略されています）</p>

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●コンサルティング技法の活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーコンサルティング技法の選択と活用</p> <p>ー分析ツールとモデルの理解と活用</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、コンサルティング技法を適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>● 知的資産管理(Knowledge Management)活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>一 知的資産の管理と活用</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●テクノロジー</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> -IT業界動向の把握 -関連技術(IT)動向の把握 -関連技術(IT)標準の理解と適用 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●インダストリ(ビジネス)</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ー関連業界動向の把握 ー関連業界アプリケーションの把握 ー関連業界(ビジネス)標準の理解と適用 	<p>レベル7</p>	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	<p>レベル6</p>	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	<p>レベル5</p>	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	<p>レベル4</p>	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	<p>レベル3</p>	<p></p>

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●プロジェクトマネジメント</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －プロジェクト統合マネジメント －プロジェクト・スコープ・マネジメント －プロジェクト・タイム・マネジメント －プロジェクト・コスト・マネジメント －プロジェクト品質マネジメント －プロジェクト人的資源マネジメント －プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント －プロジェクト・リスク・マネジメント －プロジェクト調達マネジメント 	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●リーダーシップ</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーリーダーシップ</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームをリードし、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●コミュニケーション</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> -2Wayコミュニケーション -情報伝達 -情報の整理・分析・検索 	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術チームメンバとITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●ネゴシエーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーネゴシエーション</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的かつ複雑なネゴシエーションを行い、同意を得ることができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行い、同意を得ることができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行うことができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術チームメンバーとのチームコミュニケーションを図り、ITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行うことができる
	レベル3	

専門分野:
アプリケーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【専門分野固有スキル項目】</p> <p>●アプリケーションアーキテクチャ設計</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ー機能要件の定義 ー機能アーキテクチャ設計 ー機能アーキテクチャ実現可能性の評価 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、アプリケーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、アプリケーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、アプリケーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、アプリケーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル3	

スキル熟達度・知識項目

職種:ITアーキテクト

専門分野:インテグレーションアーキテクチャ

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●アーキテクチャ設計</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －要件(制約)の分析と定義 －アーキテクチャ設計指針の定義 －ITアーキテクチャ設計 －アーキテクチャおよび技術的視点から実現可能性評価 －技術上の課題の定義と代替案の分析 －プラットフォーム及び要素技術の評価 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル3	<p>（このレベルの具体的な説明は図中の斜線によって省略されている）</p>

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●設計技法</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －モデリング技法の理解 －データモデリング技法の理解と適用 －プロセスモデリング技法の理解と適用 －パフォーマンスモデリング技法の理解と適用 －アプリケーション設計技法の理解と適用 －インフラストラクチャ設計技法の理解と適用 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソッドロジ、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル3	<p>（このレベルの具体的な説明は図中の斜線によって省略されています）</p>

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●標準化と再利用</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －開発標準の定義 －基本原則に基づくIT標準の定義 －既存資産の再利用 －再利用技法の理解と適用 －再利用資産の開発と適用 －再利用資産管理プロセスの理解 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●コンサルティング技法の活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーコンサルティング技法の選択と活用</p> <p>ー分析ツールとモデルの理解と活用</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、コンサルティング技法を適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>● 知的資産管理(Knowledge Management)活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>一 知的資産の管理と活用</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●テクノロジー</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> -IT業界動向の把握 -関連技術(IT)動向の把握 -関連技術(IT)標準の理解と適用 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル3	<p>（このレベルの具体的な説明は表の下部に斜線が入っており省略されています）</p>

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●インダストリ(ビジネス)</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ー関連業界動向の把握 ー関連業界アプリケーションの把握 ー関連業界(ビジネス)標準の理解と適用 	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●プロジェクトマネジメント</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －プロジェクト統合マネジメント －プロジェクト・スコープ・マネジメント －プロジェクト・タイム・マネジメント －プロジェクト・コスト・マネジメント －プロジェクト品質マネジメント －プロジェクト人的資源マネジメント －プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント －プロジェクト・リスク・マネジメント －プロジェクト調達マネジメント 	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●リーダーシップ</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーリーダーシップ</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームをリードし、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●コミュニケーション</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2Wayコミュニケーション - 情報伝達 - 情報の整理・分析・検索 	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術チームメンバとITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●ネゴシエーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーネゴシエーション</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的かつ複雑なネゴシエーションを行い、同意を得ることができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行い、同意を得ることができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行うことができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術チームメンバーとのチームコミュニケーションを図り、ITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行うことができる
	レベル3	

専門分野:
インテグレーションアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【専門分野固有スキル項目】</p> <p>● インテグレーションアーキテクチャ設計</p> <p>【知識項目】</p> <p>— 統合要件の定義</p> <p>— 統合アーキテクチャ設計</p> <p>— 統合アーキテクチャ実現可能性の評価</p>	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インテグレーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インテグレーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インテグレーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インテグレーション領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル3	

スキル熟達度・知識項目

職種:ITアーキテクト

専門分野:インフラストラクチャアーキテクチャ

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●アーキテクチャ設計</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －要件(制約)の分析と定義 －アーキテクチャ設計指針の定義 －ITアーキテクチャ設計 －アーキテクチャおよび技術的視点から実現可能性評価 －技術上の課題の定義と代替案の分析 －プラットフォーム及び要素技術の評価 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ユーザの要求をアーキテクチャ要件に分解、再構成し、ITアーキテクチャの設計、およびその実現可能性の評価を実施することができる</p>
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●設計技法</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －モデリング技法の理解 －データモデリング技法の理解と適用 －プロセスモデリング技法の理解と適用 －パフォーマンスモデリング技法の理解と適用 －アプリケーション設計技法の理解と適用 －インフラストラクチャ設計技法の理解と適用 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソドロジー、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソドロジー、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソドロジー、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なメソドロジー、モデリング技法を選択、適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル3	<p>（このレベルの具体的な説明は図中の斜線によって省略されています）</p>

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●標準化と再利用</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －開発標準の定義 －基本原則に基づくIT標準の定義 －既存資産の再利用 －再利用技法の理解と適用 －再利用資産の開発と適用 －再利用資産管理プロセスの理解 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、標準化および再利用を推進し、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる</p>
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●コンサルティング技法の活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーコンサルティング技法の選択と活用</p> <p>ー分析ツールとモデルの理解と活用</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、最適なコンサルティング技法の選択と適用、プロセスの定義と実践、成果物の定義と作成を行い、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、コンサルティング技法を適用し、ITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>● 知的資産管理(Knowledge Management)活用</p> <p>【知識項目】</p> <p>一 知的資産の管理と活用</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、プロジェクトの準備、開始から完了、及び完了後の全工程において、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を適切に行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、知的資産のデータベース化、活用、維持、管理を行い、効率的、高品質なITアーキテクチャ設計を実施することができる
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●テクノロジー</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> -IT業界動向の把握 -関連技術(IT)動向の把握 -関連技術(IT)標準の理解と適用 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術動向の把握、技術的問題解決等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる</p>
	レベル3	<p>（このレベルの具体的な説明は図中の斜線によって省略されている）</p>

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●インダストリ(ビジネス)</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ー関連業界動向の把握 ー関連業界アプリケーションの把握 ー関連業界(ビジネス)標準の理解と適用 	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、業界動向の把握、業界標準の理解と適用等を行い、ITアーキテクチャ設計に関する技術的な提言を行うことができる
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●プロジェクトマネジメント</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> －プロジェクト統合マネジメント －プロジェクト・スコープ・マネジメント －プロジェクト・タイム・マネジメント －プロジェクト・コスト・マネジメント －プロジェクト品質マネジメント －プロジェクト人的資源マネジメント －プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント －プロジェクト・リスク・マネジメント －プロジェクト調達マネジメント 	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計に関するプロジェクト計画策定、計画実施、変更管理を行い、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●リーダーシップ</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーリーダーシップ</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームを指揮または命令し、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、ITアーキテクチャ設計チームをリードし、プロジェクトを成功裡に遂行することができる
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●コミュニケーション</p> <p>【知識項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2Wayコミュニケーション - 情報伝達 - 情報の整理・分析・検索 	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術チームメンバとITアーキテクチャ設計に関する技術的な意思疎通を図り、コミュニケーションを行うことができる</p>
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【職種共通スキル項目】</p> <p>●ネゴシエーション</p> <p>【知識項目】</p> <p>ーネゴシエーション</p>	レベル7	ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的かつ複雑なネゴシエーションを行い、同意を得ることができる
	レベル6	ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行い、同意を得ることができる
	レベル5	ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、顧客責任者とITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行うことができる
	レベル4	ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、技術チームメンバーとのチームコミュニケーションを図り、ITアーキテクチャ設計に関する技術的なネゴシエーションを行うことができる
	レベル3	

専門分野:
インフラストラクチャアーキテクチャ

ITアーキテクトのスキル熟達度・知識項目

スキル項目と知識項目	スキル熟達度	
<p>【専門分野固有スキル項目】</p> <p>●インフラストラクチャアーキテクチャ設計</p> <p>【知識項目】</p> <p>－インフラストラクチャ要件(主に非機能要件)の定義</p> <p>－インフラストラクチャアーキテクチャ設計</p> <p>－インフラストラクチャアーキテクチャの実現可能性の評価</p>	レベル7	<p>ピーク時の要員数500人以上で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、他のITアーキテクトをリードし、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インフラストラクチャ領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p> <p>また当該テーマに関して、学会、テクニカルコミュニティ、講演等で発表することができる</p>
	レベル6	<p>ピーク時の要員数50人以上500人未満で複数のアーキテクトが参画するプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、他のITアーキテクトをリードし、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インフラストラクチャ領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル5	<p>ピーク時の要員数10人以上50人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、アーキテクチャ設計チームをリードし、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、インフラストラクチャ領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル4	<p>ピーク時の要員数10人未満のプロジェクトにおいて、ソリューション設計の責任者として、要件定義、アーキテクチャ設計、アーキテクチャ評価を行い、を行い、インフラストラクチャ領域を中心としたITアーキテクチャ設計を成功裡に実施することができる</p>
	レベル3	